
モンスターハンター 《異能な狩人》

エアライド

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

モンスターハンター 《異能な狩人》

【Nコード】

N9900W

【作者名】

エアライド

【あらすじ】

半年に一度のハンター試験。その試験に参加すべく沢山の新人達で会場内は賑わっていた。その中にひとときわ闘志を燃やす者が一人。そんな彼には特別な力が宿っていた。

この物語はそんな彼が仲間たちと困難なクエストをこなしながら立派なハンターに成長していくお話である。

これは、作者の初めての作品です。

Episode 1 (前書き)

どーも初めまして！！エアライドです。

私は小説なんて一度も書いたことのない素人ですが頑張って書いていこうと思っています。

Episode 1

??? side

季節は春と夏のちょうど入れ替わりの頃。

ここはユクモ村。今日は半年に1度のハンター試験の日だ。会場となった訓練場では沢山の新人ハンター達が試験の開始を待っていた。

??? 『よし！今回が初めてだけど一発で合格してやる！！』

彼の名前はウォン。この春にハンターになったばかりの新人ハンターである。彼は物覚えが良く、ほんの2ヶ月で無理なくジャギイーを1回のクエストで30匹も倒せるまで成長していた。そんな彼を訓練場の教官が見て今回の試験に彼を勧めて、そして彼は受けることにきめた。

ウォン 『早く始まんないかな・・・、ん？』

そんな彼が試験ねの開始を待ちながら会場内を見回してみると、彼の斜め前に彼と同じぐらいの年齢の少年が何かそわそわしながら立っていた。よく見ると足が細かく震えているようだ。気になったウォンはそんな彼に少しずつ近づいていった。

ウォン side out

Episode 1 (後書き)

どーでしたでしょうか？満足してくださった方やそうでない方もいらっしゃると思いますので、『ここ、こうしたほうがいいよ』などの感想をお待ちしています。

・・・上記に感想を待ってますと書きましたが、私、不定期に感想をチェックしますので、すぐに返事をする事ができません。すみません。

また、投稿も不定期です。本当にすみません。

Episode 2 (前書き)

勉強の合間に投稿しています。

Episode 2

?????side

?????『ああ・・・緊張する。』

今、そこでそわそわしている少年、彼の名前はタオ。彼も春からインターになったばかりの新人だ。彼は普通の人より気弱な為、とてつもなく緊張していた。そう、周りに気がいかにまです。そのため彼は・・・背後から近づいて来るある一人の人物に気づかなかつた・・・(某名探偵風ww)

タオ『うう・・・緊張するよ・・・、そうだ、お爺ちゃんがもし緊張したらするとよいつて言っていたのをしてみよう。』

彼は、そう思うと手のひらの”人”という字を3回書いてそれを飲み込むようにした。

タオ『ふう、これでもう大丈夫。』

と、そう思っていると、突然斜め後ろから声がかかった。

?????「ねえ、それなにしてんの?」

タオ『ウワアアッ!?!?』

彼は突然かかった声に驚いて思わず大声を出してしまった。

夕才 side out

Episode 2 (後書き)

この投稿ペースでいくと2週間に1回のペースになると思います。

Episode (前書き)

こんにちは、エアライドです。只今、テスト期間中ですので、勉強の合間に投稿します。

Episode 3

ウォンside

彼に近づくと彼は何やら手のひらに文字らしきものを書いてそれを飲み込んでいた。その行動を不思議に思ったウォンは彼に声を掛けてみた。

ウォン「ねえ、それなにしてんの？」

????「ウワアアツ!？」

彼はかなり驚いたようで大声を上げた。そんな彼を見たウォンは、『どれだけ緊張してんの、こいつ』と思った。

????「えっ! な、何!？」

彼は軽く混乱してるようで大丈夫かなと思いつつ俺は声を掛けてみた。

ウォン「あ、ごめんな。大丈夫か？」

???「え？あ、うん。大丈夫だよ。」

と、彼は返事を返しながら俺の方を見つめたが、俺はそんなこと関係なしに話を続ける。

ウォン「本当にごめんな。君がしていた仕草を不思議に思ってた。」「。。」

???「僕の方こそごめん、急に大声出して。緊張しててね、驚いたでしょ？」

ウォン「いや、大丈夫だぜ。こんな大きな会場で（試験が）行われるんだ。緊張しないはずがないよ。現に俺も少し緊張してるしな。それよりも今、手のひらで何かしていたけれどそれ、なんなんだ？」

???「あ、これ？これは緊張しなくなるおまじない。ここにくる前にお爺ちゃんに教えてもらったんだ。仕方は、手のひらに”人”っていう字を3回書いてそれを飲み込むだけ。簡単でしょ？」

ウォン「へー、そんなのがあるんだ。で、それで効果はあったの？」

???「あー、飲み込んだ直後に声を掛けられたからね・・・。」
(^^; ; ; ; ;

ウォン「・・・ごめん。」 m () m

???「あー、いいよもう。それに、君と話していたら緊張なんて吹き飛んじゃった。」

ウォン「そっか、それはよかったぜ。あ、まだ名前言ってなかったな。俺はウォン。よろしくな。」

???「僕は夕オつて言うんだ。こちらこそよろしく。」

ウォン s i d e o u t

Episode 3 (後書き)

次回は、登場人物設定にしたいと思っています。

登場人物設定（前書き）

2日連続投稿です。こんな事している暇では無いのに・・・
— o r z —

登場人物設定

エアライド「どうも、おはようございます、こんにちは、こんばんは。読者の方々。作者のエアライドです。(以下、作者とします)」

ウォン「やあ！主人公のウォンだ。(以下、ウォン)」

タオ「主人公2かもしれないし、ただの脇役かもしれないタオです。」

ウォ「何だよ、それ」(^^;)

タオ「だって、作者が、そうしているから仕方がないでしょ？」

ウォ「さくしゃ？」(；「「(ジ―

作者「いや、まだ決まらなくて……。まあまあそんなことよりも、今回は登場人物設定をすることにしたよ。ワー、パチパチパチパチ」

ウォ・タオ「……………」

作者「・・・乗ってくれよ」（TOT）

タオ「そんな作者はほっておいて「無視された!？」・・・始めよう」

ウオ「・・・^^;」

作者「グスン」(; ;)

ウオン

主人公 12歳 外見は某学?都市の?条さんで、髪型は、ツンツンヘアーではない。

春にハンターになったばかりだが、結構強い。訓練所の教官に勧められて受験した。

使用武器：太刀、ライトボウガン。何時もは太刀。

家族構成：母、妹、祖父、祖母との5人家族。

彼の父親は有名なハンターだったが、数年前、仕事中に未知のモンスターに襲われ殉職。帰らずの人になってしまった。未知のモンスターについては、それ以来姿を見た者はいないとのこと。

ウオンがハンターに志願したのは父親ね仇をとるため。

そして彼は、今日もあの未知のモンスターを探し続ける。

最後に一つ。実は、彼には、彼以外誰にも知らない不思議な力を持っていた。

ウオ「・・・・・・・・」

タオ「最後のナニ？」

作者「まだ秘密。まあ、出てきたらまた教えるから。」

タオ「約束だよ！」

ウオ「・・・・・・・・」

タオ「ウォン・・・・・・・・？」

ウオ「・・・・・・・・」

タオ「ウォン！！」

ウオ「・・・・・・・・ハッ！」

タオ「ウォン、大丈夫？」

ウオ「嗚呼、大丈夫だ。それより、次、タオのいこうぜ！」

作者「はいはい」

タオ

主人公？脇役？ 12歳 外見は、「牧？物語 や？？ぎの樹」に
でてるタオっていう人物。髪の毛の形・色が違う以外あまり変わ
らない。

今回受験したのは、彼の祖父によって強引に。

使用武器：双剣、片手剣

家族構成：父、母、祖父、祖母の5人家族。

彼の祖父は、ハンターだったがもう引退している。今回タオを強引
に受験させたのはタオに気弱なところを直すため。他にも理由は、
有るみたいだが、一番は、それだ。

以上

タオ「適当！？ちよつと作者！」、（*、・、）ノ

ウオ「まあまあ」

作者「と、いうことで、2人の説明は終わりました。まあ、まだまだぶん他にも出てくると思いますか、それは、その都度、していきたいと思います。と、いうことで、今回はこれで終わります。さよなら。」

タオ「あ、ちよっつ」

作者がログアウトしました。

タオ「あーあ、行っちゃった。」

ウオ「たく、作者は……………。……………俺らも終わるか」

タオ「そうだね」

ウオ「と、いうことで次回、お楽しみに！」

登場人物設定（後書き）

次、何時になるかわかりませんがお楽しみに。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9900w/>

モンスターハンター 《異能な狩人》

2011年10月12日16時49分発行